



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー 駐日ドミニカ共和国大使が市立松戸高等学校で生徒と交流

東京2020大会でのレガシーを受け継ぎ、さらなる共生社会への理解につなげるため、令和4年9月30日に市立松戸高等学校にて、駐日ドミニカ共和国大使による講演を行います。

松戸市とドミニカ共和国の交流は、平成27年に外務省と共催した「駐日外交団地方視察ツアー」に始まり、松戸の特産品の梨を通じて広がりました。平成28年12月9日、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部により、ドミニカ共和国は本市のホストタウン相手国に登録されました。東京2020大会においては、同国テコンドー選手団が本市で事前キャンプを実施し、学生とのオンライン交流等でおもてなしをしました。

- 日 時 令和4年9月30日（金）13時10分～14時
- 場 所 松戸市立松戸高等学校（視聴覚室）
- 実施方法 駐日ドミニカ共和国大使が来校し対面で講演
- 次 第
 1. 開会
 2. ホストタウンについて（国際推進課職員）
 3. ドミニカ共和国講演 ～食や歴史などの文化紹介～
 4. 感想発表・質疑応答
 5. 記念撮影
 6. 閉会
- 講 師 駐日ドミニカ共和国大使 ロベルト タカタ氏
- 参加生徒 松戸市立松戸高等学校 国際人文科1年生（40名）
- 添付資料 別紙 来場案内

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市経済振興部国際推進課 ☎047-711-2725

FAX 047-363-2653 ✉ mckokusai@city.matsudo.chiba.jp

